

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年 8 月～2024 年 7 月)



multiple load handler

more speed. less damage. all blue.



カスケード（ジャパン）リミテッド

発行日 2024 年 8 月 31 日

改定 2025 年 1 月 10 日

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

カスケード（ジャパン）リミテッド

代表取締役 長田 耕一

(2) 所在地

本 社 : 兵庫県尼崎市久々知西町 2 丁目 2 番 23 号

北日本営業所 : 宮城県仙台市若林区若林 4 丁目 1 番 38-201 号

南関東営業所 : 千葉県市川市田尻 4 丁目 4 番 26-103 号

東京営業所 : 東京都板橋区本町 10-21 ベルメゾン板橋本町 502 号

静岡営業所 : 静岡県御殿場市東田中 1891-18-206 号

名古屋営業所 : 名古屋市名東区八前 1 丁目 801 番地 ライオンビル 701 号室

北信越営業所 : 富山市婦中町速星 89-1 A・wash 婦中ベース A6

西日本営業所 : 福岡県筑後市山ノ井 196 番 1-302 号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者 : 製造部 山崎 富雄 TEL : 06-6420-9773

担 当 者 : 総務課 森脇 恵子 TEL : 06-6420-9774

(4) 事業概要

フォークリフトアタッチメントの仕入・販売

(5) 事業規模

製品出荷額 : 非公表

従 業 員 : 50 名

延べ床面積 : 2,420 m²

(6) 事業年度

2023 年 4 月～2024 年 3 月

2. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : カスケード（ジャパン）リミテッド

対象事業所 : 本社

北日本営業所 南関東営業所

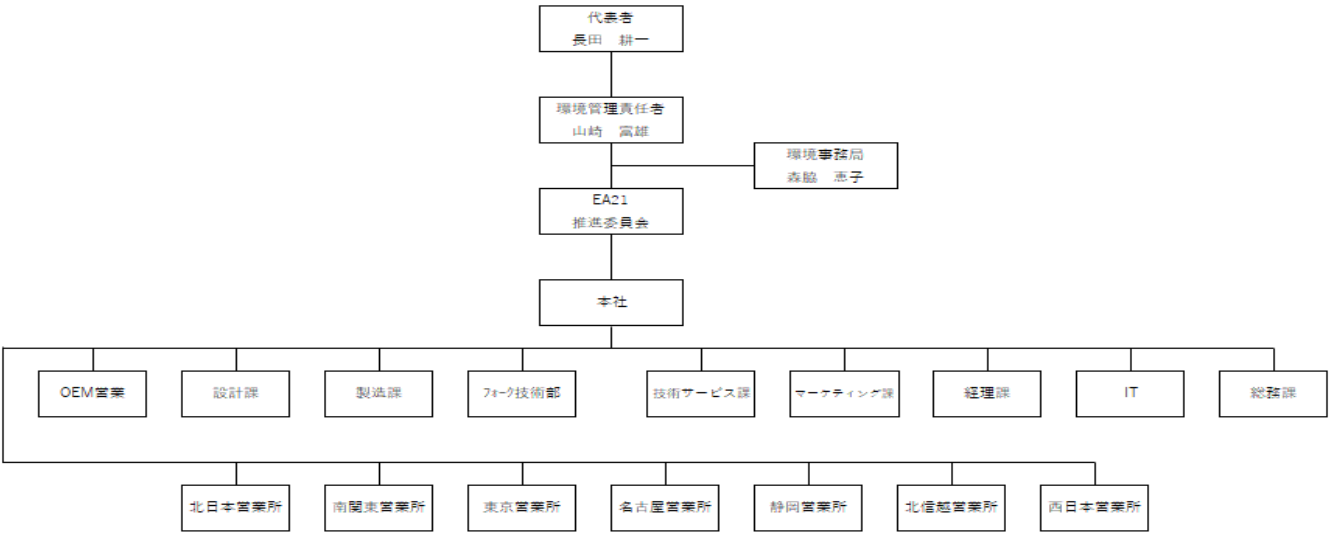
東京営業所 静岡営業所

名古屋営業所 北信越営業所

西日本営業所

(対象外はなし)

活 動 : フォークリフト・アタッチメントの仕入・販売



※本社を除く営業所（北日本・南関東・東京・名古屋・静岡・北信越・西日本）には各 1 名が常駐。

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・外部コミュニケーションの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・手順書類の承認 ・外部コミュニケーションの確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営方針の周知 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成・更新 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・部門共通の手順書の原案作成 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・特定された緊急事態対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 ・環境経営レポートの作成、公開 （事務所に備付け、地域事務局への送付、ホームページ掲載）
EA21 推進委員会	・担当項目における環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・担当項目における手順書作成及び運用管理 ・担当項目における問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

<基本理念>

当社は、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用を推進します。そのため、フォークリフトアタッチメント等関連製品の販売活動における環境負荷の低減や、社会に貢献する製品の拡販を目指し、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組みを進めます。

<環境経営方針>

(1) 当社は、「経営における課題とチャンス」を踏まえながら、次の環境経営目標を掲げ、次の環境への取組を行います。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進
- ③ 水資源の節減
- ④ 化学物質使用量の削減
- ⑤ 環境に配慮した製品の販売促進

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

(2) 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。

(3) この環境経営方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し公表します。

制定日：2017年 6月 30日

改定日：2022年 6月 1日

カスケード（ジャパン）リミテッド

代表取締役 長田 耕一

4. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	121,143	124,510	130,198	116,463	111,529
一般廃棄物排出量	Kg	3,660	3,602	3,677	3,589	3,525
産業廃棄物再資源化率	%			37.0	93.5	96.0
総排水量	m ³	363	362	348	387	399
PRTR 対象物質排出量	kg	192	232	144	144	160

5. 環境経営目標及びその実績

(対象期間：2023 年 7 月～2024 年 8 月)

年 度			2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	
項 目			実績	実績	実績	実績	目標**	実績
二酸化炭素 排出量の 削減	電力*	kg-CO ₂	45,973	47,524	50,811	48,363	50,021	44,986 (7.5%減)
	自動車 燃料	kg-CO ₂	75,170	76,986	79,364	68,100	78,570	66,543 (2.3%減)
	合計	kg-CO ₂	121,143	124,510	129,328	116,463	128,591	111,529 (4.4%減)
	燃費	km/l	10.4	11.7	13.4	14.1	13.7	13.9 (1.4%減)
一般廃棄物の削減		kg	3,664	3,602	3,677	3,589	3,603	3,525 (1.8%減)
産業廃棄物再資源化率		%	—	—	—	93.5	41.0	* 96.0
水使用量の削減		m ³	363	362	348	387	341	399 (3.0%増)
塗料・シンナーの削減		g/台	59	90	82	71.7	80.0	71.1 (0.8%減)
環境配慮製品の販売 促進		台	389	228	293	275	299	209 (31.5%減)

*電力の二酸化炭素排出係数：関西電力：0.334, 東京電力エナジー：0.441, 北陸電力：0.497,
Qtnet:0.370 を使用

*実績の下のカッコ内の％は、前年実績からの増減比率

*産業廃棄物再資源化率は再資源化量÷総排出量にて計算

【環境経営目標】

環境経営目標項目		2023 年度	2024 年度	2025 年度
電力の削減	kg-CO ₂	50,532	50,021	49,511
自動車燃費の改善	km/l	13.5	13.7	13.8
一般廃棄物の削減	kg	3,640	3,603	3,567
産業廃棄物再資源化率	%	38.0	41.0	45.0
水使用量の削減	m ³	345	341	338
塗料・シンナーの削減	g/台	81	80	80
環境配慮製品の販売促進	台	296	299	302

6. 環境経営の取り組み計画と評価及び今後の取組

取り組み計画	達成状況	評 価 (結果と今後の取組)
電力消費の削減 ・未使用時電灯スイッチ OFF ・節電対象照明スイッチをシール表示 ・室内温度 夏期 28℃・冬期 20℃に ・未使用の部屋の空調機を OFF 他	目標：50,021kg-CO2 実績：44,986kg-CO2 率：111.1 % 結果：目標達成	目標達成：目標設定温度のブロックチェックで室温管理と、空気の循環を良くする事で一定の効果があつたと考えます。こまめな室温チェック次年度も目標達成を目指します
自動車燃費の改善 ・アイドリングの削減 ・タイヤの空気圧の適正值維持 ・不要な荷物、過積載をなくす ・過度の暖機運転を行わない 他	目標：13.7km/l 実績：13.9km/l 率：101.4 % 結果：目標達成	目標達成：安全委員会を通じて啓発活動に一定の効果があつたのかと感じています。公共交通機関の積極的利用なども一度検討したいところです。
一般廃棄物の削減 ・事務作業ミス等によるゴミ発生の抑制 ・リサイクル可能資源と廃棄物処分分別 ・紙類の分別収集の徹底 ・紙類の雑ゴミへの混入排除 他	目標：3,603 kg 実績：3,525 kg 率：102.2 % 結果：目標達成	目標達成：まだできるだろう！リサイクル可能資源と廃棄物処分分別をモットーに取り組んできました。自販機設置業者のペットボトル自主回収により削減が実現しました。
産業廃棄物の削減 ・産業廃棄物別の適正処理 ・産業廃棄物再資源化率の向上	目標：41 % 実績：96.0 % 率：234 % 結果：目標達成	目標達成：金属類、木くず、廃パレット、の再資源化が定着、これまで通り適切な分別を維持していきます。
水使用量の削減 ・ムダな消費を防ぐ心掛け ・バルブで水压を絞り込む ・節水コマ、節水泡沫器の利用 ・適切な排水量・時間の維持 他	目標：341.0 m ³ 実績：399.0 m ³ 率：85.4 % 結果：目標未達成	目標未達成：T.W.から出社に方向転換し、出社人数が増えたことが原因かと考えます。 節水を改めて意識してもらえよう発信していきます。
塗料・シンナーの削減 ・保管容器購入により揮発分減少 ・容器の蓋をその都度閉める ・作業計画を立て無駄な消費をなくす	目標：80.0g/台 実績：71.1g/台 率：112.5 % 結果：目標達成	目標達成：余剰在庫の削減、安全委員会による啓発活動の成果により目標達成となりましたが、海外入荷物の塗装不良が頻発し今後の課題となりました。海外からの入荷物は自国との認識の差があることは事実であり、この差を縮小できるよう現地訪問を予定しております
環境配慮製品の販売促進	目標：299 台	目標未達成：2024 年問題でオペ

・市場の把握 ・エンドユーザーの現状聞き取り ・DM 等による PR ・エンドユーザーのメリット事例説明	実績： 209 台 率： 69.8 % 結果：目標未達成	レーター不足で需要が減ってきています。ここ数年で大きな倉庫を開設し今期の伸び悩みが起きました。これまでの油圧駆動に加え、電動駆動の販売計画も検討中です
---	------------------------------------	---

7. 環境関連法規制等の遵守状況（評価実施日：2024 年 8 月 31 日）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況の確認
廃棄物処理法	産業廃棄物の置場管理・マニフェスト管理	○
道路交通法	製品運搬、営業活動での違反なし	○
大気汚染防止法	社用車は、適合車で運行	○
自動車 NOx・PM 法	排気ガス規制に適合	○
下水道法	排水は、公共下水に排出	○
化管法（PRTR 制度）	シンナーの使用量管理	○
労働安全衛生法	シンナーの使用作業場の管理及び金属アーク溶接のヒューム対策	○
自動車リサイクル法	社用車 今期の廃棄対象無し	○
フロン排出抑制法	エアコン対象機械の点検記録保管	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守しており、違反、訴訟等も発生していない。なお、関係当局よりの違反等に指摘はありません

8. 代表者による全体の評価の見直し・指示

環境経営目標の二酸化炭素排出量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物再資源化率、塗料・シンナーの削減は目標達成できました。

「まだできるだろう！分別の徹底」と呼びかけ、一般廃棄物の前年比マイナス、目標達成に向けて社員一丸となって取り組みました。今後は定着できるよう、確認してまいります

水道使用量の削減は目標未達となったものの、出社へ転換した結果、使用量増加につながったものの、今期の目標であるコミュニケーションの強化につながっていききました。

今期はこれまでの油圧式駆動仕様から環境負荷が少ない電気駆動仕様の販売計画も計画中です
毎日の積み重ねが目標達成につながっていると自覚し、日々の努力を惜しまず継続していきます。

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり
環境経営目標・計画	☒	変更なし	☐	変更あり
実施体制	☒	変更なし	☐	変更あり